

第1回柳町小学校教室対策等協議会で出された意見（要旨）

- 当初の園児数の見込みより子どもの数が大分増えてしまい、施設的には部屋はありますが、給食を提供するための給食室の設備がどうにも回らなくなっているというのが27年度末の現状です。
- 年々児童数が増えていくということを踏まえますと、やはり校舎の改築は早く進めていただければと思っております。
 - ・プレハブで過ごす期間を短くしていただきながら、皆さんと一緒に、子どもたちの教育活動が今よりさらに充実できるような環境づくりを検討し、実現していただければありがたいと思っております。
- 今年度、通常の学級14学級で、来年度も14学級の予定ですが、このまま推移すれば、その翌年には15学級に達するというところで、現在使っている通常の教室では、それでも足りなくなるということがあります。
 - ・仮設校舎はあくまでも仮設校舎なので、本校舎と同様に対応するのはなかなか難しいという状況が、1年たつたかたないかというところで、すでに見えてきています。
 - ・教室対策ということで仮設校舎を建てたことにより、今、校庭が狭くなっています。今年度は、地域の方々、保護者の方にご不便をかけながら運動会を行いました。体育の授業や日常の遊びを行うにも非常に不便な状態です。
 - ・本校では、近接地域に校庭の代替地がないので、校舎増築に当たって、これ以上校庭が侵食されていくと、日常の教育活動が成り立たなくなります。
 - ・校舎問題を解決していこうというときに、工期の問題とか、建築の手順の問題などを検討していただく段階になったときには、校庭への影響を極力与えないような知恵をお出しいただくことも必要になってきます。子どもたちのためによりよい環境をとということを重ねてお願いいたします。
- 子どもたちにできるだけ早くというのも、身近で感じていました。子どもたちの顔を近くで見ることが多い分、「やなぎの森」と呼ばれている森の部分ですごく大事に感じるのも確かです。あの部分は外して、柳町こどもの森を含めた全面的に大規模なものにできたら、文京区としてすごく誇り高い施設になるのではないかと思います。
- 柳町小学校をとっても特色のある学校だと感じておりまして、一番の宝物である「やなぎの森」はぜひとも残していただきたいなと考えております。
- 「やなぎの森」を壊すのは嫌だということですね。素人考えでいけば、大変失礼けれどもここは森というほどのものではないと思います。
- 土の校庭のいい面もあるのですが、渡り廊下のところが雨の日にドロドロになるので、早く校舎がつながればいなと常に思っています。
- 「やなぎの森」と言って皆さんが大切にするのはわかるのですが、それより

も教室がないとか、今、柳町こどもの森でも大変だということがありますので、「やなぎの森」と両方を考えたときに、どちらが大切ということをお皆さんでよく考えて、なるべくスムーズに早く改築になったらいいのかなと思っております。

- 自分や子どもの経験から、早く新しいきれいな校舎をつくっていただきたいなと思います。
- 増設部分の建築を早くするとしても、設計に関しては継ぎはぎになると困るので、柳町こどもの森も含めてこの敷地全体のグランドプランを作った上で、全体の設計を行い、将来的には一体性のある校舎にして欲しいと思います。
 - ・柳町小学校は柳町こどもの森も含めて限られたスペースなので、文部科学省の言うような基準どおりの校庭面積は絶対とれないと思いますが、その中でも知恵を出し合い、最大限ここまでならできるといものをつくっていただければありがたいと思っております。
 - ・災害では想定外のことが起きるため、全体的な改築を考えるということなら防災面も十分考えて設計をしていただければと思います。
- 今回は前回の轍を踏まないように、途中のどこかでチェックをしながら着実に進んでいくようにやっていただきたいと思います。
- 土地を有効に使うためには、一部は高層化することを考えて欲しいと思います。
 - ・子どもたちが学ぶのにいい環境、校庭なども、今までの校庭と比べると4分の3ぐらいで、大分狭くなった感じがします。少なくとも増築する前ぐらいの広さの校庭は確保したほうがいいと思います。
 - ・全体的な構想の中で、いろいろ話し合いをして、残すところは残す、一部高層化するところは高層化するという形で、限られた土地をいかに有効に使うかということが一番大事じゃないかと思います。
- 全面改築というのはすばらしいことだと思いますが、それには相当な時間がかかって、その間不自由するのは子どもたちです。なるべく早く、2、3年でできるような増築で、教室もふえて、校庭も確保できるような方法を考えたほうが私はいいと思います。
- 増築することにより、教室は多くなりますけれども、校庭が狭くなったり、いろいろなデメリット等がたくさんございます。できましたら、柳町こどもの森の場所も含めて、全て総括的に考えて、場所の有効利用を図って全面改築の方向で進んでいけたらよろしいのではないかと思います。
- 柳町小学校の特色として、特別支援学級があります。こちらに通ってくださるお子さんたちの移動がしやすいように、少しの段差でも彼らにとっては大変だと思いますので、バリアフリー化と、あと特別支援学級を2階にする場合には必ずエレベーターが必要だと思っています。
- 児童の数が増えていく中で、同じように育成室も定員いっぱいという形にな

ります。第三育成室もプレハブでやっている状態ですし、今回、一部増築ではなくて、全面改築を検討するというのは、やっぱりいいことなのかなと思います。子どもにとって勉強もしくは生活する環境をいかによくできるかというものをみんなで検討できたらいいのではないかなと思います。

- せっかくの土のグラウンドなので、どの育成室からもアクセスできて、思う存分伸び伸びと遊べるような環境ができればいいなと思っています。
- 校庭の狭さで子どもたちが安全かどうか、事故など、そういった心配も考えております。何よりも子どもの安全性を守りつつ、よりよい環境で学べることを願っております。これから入学する子どもがいる親として、なるべく子どものストレスがない状態で、基本的な勉強や友達との学び、遊びなどを通じて学校生活を送らせたいというのが願いです。
- 柳町こどもの森では、今まで小学校の増築について聞いていましたが、柳町こどもの森もという意見は最近になって初めて聞いたものですから、園のPTAの中ではそういった話を前提にした話題は全く出ていない状況であります。
- ・幼稚園や保育園は選べるので、小学校のほうで、時間をかけてでもいいものをつくりたいというのであれば、柳町こどもの森のほうは問題ないかと思えます。ただ、ここに通っている小学生のお子さんのことを考えれば、ずっと工事中だったね、校庭でみんなと遊べなかったね、運動会できなかった、ちょっと寂しかったという思い出が多く残ってしまうのはかわいそうなので、何かいい案があればとは思っております。
- 柳町小学校の給食室とか図書室、体育館、その他のものも小規模校としてのサイズであり、設備であるのかなと思います。せっかくこのようなお話があるので、教室その他のスペースも、子どもたちが快適に使えるようなものに全面的に改築していただけたらうれしいと思います。
- 柳町こどもの森、育成室、児童館、小学校と、この敷地をフルに使わせていただいて、今回一体で改築ということはすごくうれしいことだと思っています。工期の問題とか代替地の問題とか、いろいろあるかと思いますが、よりよい環境整備のために知恵を出し合ってやっていけたらいいと思います。
- 今回の改築の結果、非常にいいものができるだろうと思っていますが、一方で、既存の子どもたちのこともしっかり配慮して、将来の子どもたちのためだけでなく、両方に配慮しながら議論を進めていければいいなと思っています。
- 現状、柳町こどもの森、小学校の施設がいっぱいであるということがありますので、ぜひとも全面改築でいい案を出し合いながら早期に実現していただければ大変ありがたいなと感じております。実際にいる子どもたちにとっても、工事中の活動が制限されることなく、今の高い工事技術を使って、少しでも広い校庭で、安心・安全な教育活動ができますように配慮して進めてい

ただければと思います。

- ・小学校のPTAでは、20校ある中で、古い順にという順番があるという話も聞いております。そういった各校、事情がある中で、柳町こどもの森を拡充することもあり、柳町小学校の全面改築という経緯になったと思います。不公平感もなく、うまく円滑に進んでいただければ大変助かります。
- 柳町小学校及び柳町こどもの森の敷地を一体として全面的な改築を含めて、なおかつ、子どもたちの環境をなるべく早くいいものにしていくということでは、皆さんのお気持ちは同じ方向でご確認いただけたらと思っています。
- ・森の部分が議論になっていたので、どういう形でそこを記述するかについては、100%今のものを残すとなると、工事の動線では難しいのかもしれないし、できるのかもしれない。その辺の部分をどういう形で次回以降、文言として盛り込んでいくか検討いたします。今後、これに基づいて事業提案を専門家がしてまいりますので、その中で、皆様の思いに一番近い技術力のある事業者を選んでいく形になります。
- どこかを先につくって、全体をやるということではなくて、柳町こどもの森も含めて一体として良いものをつくる。ただし、子どもたちの生活や授業環境ということがあるので、工期を短くし、子どもたちに影響が出ないような形で進めていくといった基本構想を作っています。
- どのくらいの高さが建てられるかについて、位置によっては、高さをもっと制限されるということも起きるため、建物を配置してみないと、絶対大丈夫というのは言えない部分がありますが、そういった細かいことを除けば、5階建てぐらいは十分考えられます。
- 子どもさんたちが、100年以上にもなる柳町小学校の歴史を知って、将来気持ちよく勉強できる、これは私も当然思っています。いい学校をつくらうということで検討するわけですね。
- 今の「やなぎの森」のところに3階とか4階とか、それこそ何十年も使えるようなしっかりした校舎をつくって、森は屋上に緑地でもつくって、我慢してもらおう。そういうものをつくってからほかの校舎のことも考えていけば一番いいのではないかと思うのです。今の仮設校舎を移動して、それからほかの改築を考えたほうが一番早いのではないかと思います。
- いかにこの場所をうまく利用して、みんなが納得、子どももいいし、みんなにいいようなものをつくるかということが一番大事なのではないかと思っています。
- 千代田区の昌平小学校と同じように、柳町こどもの森の向こう側と小学校の給食室の向こう側の公園を使用できないのでしょうか。そうすれば、敷地が厳しい中でも、多少なりとも余裕ができるのかなと思いました。
- 文京区内全部での公園の面積は今のものを維持もしくは広げていきたいと思いますという方向もありますので、柳町だけではなくて、そこの調整の中で、ど

ういう形が一番校庭面積が広くとれるのかということについては、検討していく必要もあるだろうと思っています。

- 柳町こどもの森の1歳児の方は、卒園するまでずっといると、あと4年いることになります。今まで柳町こどもの森のほうまで改築なり、工事が入るとい話は保護者の方には全く説明がなかったもので、そちらのほうがちよっと心配かなと思います。
- 今通っていらっしゃる柳町こどもの森の1歳、2歳のお子さん又はこれから入ってくるお子さんについては、今の検討状況や、おおむねこのぐらいのスケジュールの中で工事が始まりますというご案内は、私たちの責任で丁寧に実施をしながら、ご理解をいただけるような形にしていきたいと思っています。
- 公園の活用というのはすごく魅力的だなと思いました。また、1年間を通して余り使っていない場所、例えば、プールの場所を仮校舎や校庭代わりにできたらすごくいいのではないかと感じました。
- 必要な教室をどうするかという話は、前の検討委員会のときに、前半のところでかなり議論していますので、それはベースにはなっていくということですね。また、前に出た議論は生かしつつ、体育館は常に使えるとか、プールとか、そういうところを配慮するということですね。
- 本日、柳町小学校については、柳町こどもの森、幼稚園、保育園、児童館の部分を含めて一体的な改築に着手をしていくということについて、確認をいただきました。